

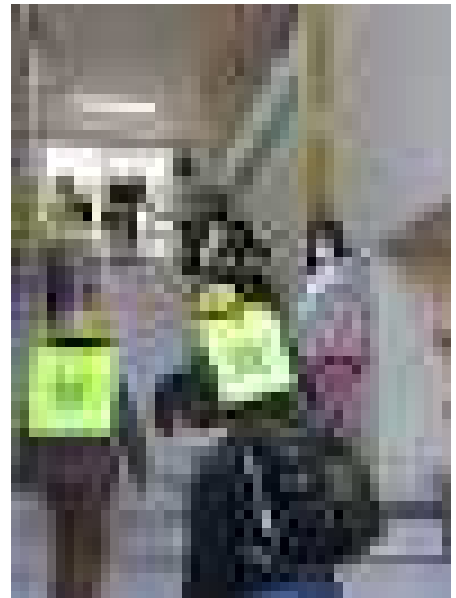
あいさつ運動 2年生の挑戦！

11月に入り、2年生が毎朝、児童玄関前階段で「あいさつ運動」を行っています。

あいさつは、「七谷15歳の子ども像」の中で「3つのあ」として大切に取り組んでいるところです。あいさつは、人とのコミュニケーションの第一歩。朝からしっかりと声を出ことで元気も出ます。しかし、働き掛けがないと、しぼみやすい活動でもあります。

今回、2年生は「進んであいさつをしよう！」を目標に作を立てました。それは、自分たちからあいさつをするのではなく、あいさつ隊として立っている自分たちに通る人から先にあいさつをしてもらい、そのあいさつに元気よく答えるということです。全校に説明とお願いをし、一目であいさつ隊と分かるように、たすきも作りしました。「あいさつを待つ。」、中々画期的な作戦です。

朝の児童玄関前階段からは、「おはようございます！」元気なあいさつが聞こえてきます。作戦がうまくいっているようです。



運
人
す
す
戦
な
あ
も
る
的

歯科指導を行いました

低学年、中学年ごとに歯科衛生士の方を講師にお迎えし、歯科指導をしていただきました。

これまでであれば、お話を聞いた後、歯磨きを行い、赤染をして、どこがうまく磨けていないか指導していただくのですが、コロナ感染防止からお話だけとなりました。

お話だけとは言え、子どもたちの身近なもの、好きなものからむし歯になる危険度をイラストや写真で見せていただき、お手製のジャンボな「歯」から、食べかすが飛び出てくるしかけに子どもたちは、集中して聞いていました。

指導後の作文からは、「口の中に歯垢というものが入っていることを知ったので、これから自分自身でいろんな歯をしっかりと、ていねいにみがきたいです。」
「私はこれからはむし歯にならないように、しっかりと1つ1つの歯を大事にしていくために、上下にきれいに磨いていきたいです。おやつ時間も決めてやりたいです。」
と、歯に関して意識が高まった様子が伺えました。また、終了後、自分の歯の心配なことを直接聞いている子もいました。お家でも子どもたちの歯磨きの様子を励ましながら見てくださいますようお願いいたします。



ありがとうございました！

小柳建設株式会社様から加茂市の子どもたちのために役立ててほしいと、図書カードのご寄付をいただきました。平成22年度から、毎年市内小・中学校、幼稚園・保育園・認定こども園にご寄付を続けていただいています。

頂戴いたしました図書カードは、学校図書の充実に活用させていただきます。子どもたちから本を選んでもらおうと考えています。ありがとうございました。





つつじが丘

教育目標 ゆたかなまなび たのしいなかま げんきなからだ
重点目標 とともに高め合う 七谷っ子

加茂市立七谷小学校

学校より

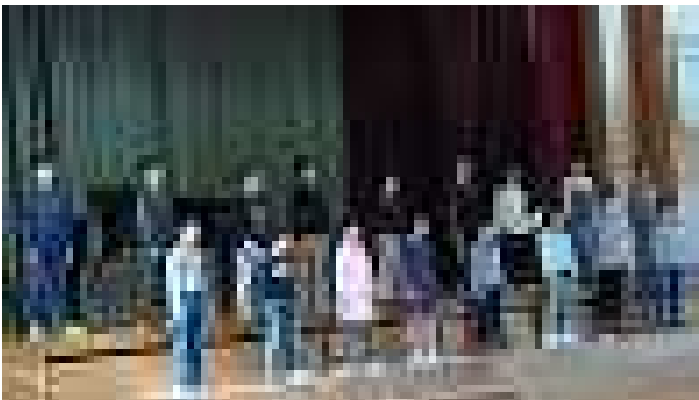
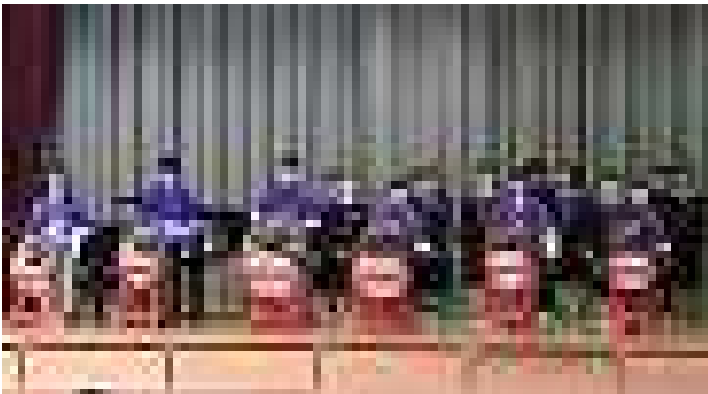
令和3年11月15日

No. 481号

<http://www.ginzado.ne.jp/~7tnj-k/>

e-mail k-7tnj@educet.plala.or.jp

文化祭・音楽発表会、ありがとうございました！



2年越しの文化祭。昨日は、4・5・6年生、そして中学生が先生方と一緒に会場を作ったり、作品を飾ったりしてくれました。おかげで皆さんの作品がきれいに飾ってあります。ぜひ、友達の作品のいいところをたくさん見つけてください。

そしてこれからいよいよ音楽発表会が始まります。音楽には力があります。聞いている人も歌っている人も、元気が出たり、勇気が湧いてきたり、感動したり、人の心を動かす力があります。今日、発表する七谷小学校・中学校の皆さん、皆さんの練習してきた全部をステージで精一杯出してください。ここにいるみんなで音楽の力を感じましょう。

さて、地域・保護者の皆様、本日は七谷小中合同音楽発表会にご参加いただき、ありがとうございます。子どもたちの発表を楽しんでいただくとともに、暖かい応援をお願いします。

さあ、音楽会の始まりです。全員で楽しい音楽会を作りましょう。

(音楽発表会 開会式 学校長挨拶より)

「初めての午前みの開催」「低・中・高学年による合唱」「参観者は保護者のみ」「コロナ対策のため、消毒の実施や健康観察カードの提出、観客席の設置の工夫」など、初めての試みを制限ある環境の中で開催した文化祭・小中合同音楽発表会でした。

”新型コロナ対策は十分なのだろうか”

”子どもたちを満足させられただろうか”

”参観した保護者の方々の反応はどうだろうか”

(※次ページに続く)

主催者側としては、気になる点でした。
終了後の子どもの作文の一部です。

私たち3・4年生は、音楽発表会で「いつだって」を歌いました。この歌に気持ちをこめて歌いました。

その気持ちは、「くじけないでがんばろう！」という気持ちです。

文化祭は、1～6年生の教室をまわっていいのを見つけて「よかったよカード」に書きました。友達と一緒にまわるのが楽しかったです。(4年生)

僕は低音を担当したけど、低音は人数が少ないので、一人一人が大きな声を出さないといけませんでした。音楽の時間や朝の会に練習をしたけれど中々声が出ませんでした。10月の後半になると、少しずつ声が出るようになりました。そして、音楽の時間のパート練習のときには、かなり声が出せるようになりました。

本番では、緊張したけどきれいな声で歌え、呼び掛けもしっかりと大きな声で言えてよかったです。音楽発表会がうまく行ってよかったです。(6年生)

子どもたちの様子は、当日の表情や作文などから満足感が伝わってきました。また、中学生の発表を参観し、感動と憧れを抱いた作文が多く見られました。

保護者の方からは、

「音楽発表会、どの学年もすばらしくてとても感動しました。来年もお願いします。」

「音楽発表会で、みなさんの歌声で私は泣きそうでした。次回も期待しています。」

と好意的なお便りが寄せられ、喜んでいるところです。

一つのことを創り上げていく過程を通して、子どもたちは成長しました。子どもたちの幸せを願い、模索する日々は続きます。次年度の計画を立てる時期になってきました。子どもたちの心が満たされるよう、計画を進めていきます。



レインボータイム（４年生）



4年生のレインボータイム。
「楮（コウゾ）」を原料とする和紙の学習に取り組んでいます。昔、七谷地区で作られていた和紙を「加茂紙」や「七谷紙」と呼び、障子紙や唐傘紙などに使われ、広く県内外に販売されていたそうです。4年生は楮が生息している冬鳥越スキー場を見学し、実際に紙す

き体験を行いました。

「先生、作った和紙を卒業証書にした卒業生もいたのですよね。」

と教えてくれる子もあり、七谷の伝統が今もつながっていると感じました。

体験では講師の先生から和紙のすき方を教わり、一人一人が自分の和紙を完成させました。互いに協力しながら作業を進めていく様子に、講師の先生からチームワークのよさを誉めていただきました。できあがった和紙をどうするか、楽しみです。



読み聞かせから（1・2年生）

毎月、低学年の子にボランティアの方から絵本の読み聞かせをしていただいています。子どもたちは、「読み聞かせ」が大好きです。毎回、食い入るように絵本を見、話を聞いています。

読み聞かせが終わると、感想発表です。事前指導なし。その場で思ったことを、発表します。この日は、1・2年生合わせて、10人以上の子がその場に立って、感想を発表しました。自分の感じたことを次々と話していく姿に嬉しくなりました。「日本人は、自分の思ったことを表現することが苦手。」とよく聞きます。子どもたちもそうです。このような機会を増やししながら、七谷っ子の表現力を鍛えていけたらと思います。

